

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価 (3月31日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりの確かな学力の向上を図り、進路実現に向けた支援を推進する。 ②国際理解教育等を通して、生徒一人ひとりの自立に向けて、視野を広げ豊かな人間性と社会性を育成する。	①生徒の学力向上を目指し、ICT機器やAIの利活用も視野に入れた職員への啓発、及び研修等を通じて授業力の向上に取り組む。 ②-1 姉妹校等交流や留学生との協働活動を継続的に推進し、生徒が主体的に国際的視野を広げられる教育環境を整備する。 ②-2 特別活動において、生徒組織それぞれの自主的・主体的な運営を促すとともに、有意義な活動と達成感の向上、安全な環境で行うことを目指し適切な指導と助言を行う。	①(1)電子黒板や一人一台端末などICT機器を活用した効果的な指導を推進する。またAIの利活用に係る教員の研修の推進及び生徒のリテラシー向上に向けた取組を行う。 (2)生徒の興味・関心を引き出す「テーマ選び」「教材の選定」「教材の提示方法」「声かけ」などの様々な視点から、各教員が授業力の向上に取り組むよう働きかける。 ②-1 姉妹校交流や海外修学旅行・留学生との協働活動を計画的に推進し、生徒が主体的に取り組むことができる場を拡大するとともに、国際理解を深める学習環境の整備を進める。 ②-2 生徒会及び各種委員会に対し担当教員が活性化を促すための環境づくりや整理を行う。生徒総会において生徒会及び委員会の課題と成果を報告し、継続的・発展的な活動につなげる。	①(1)ICT機器の利活用及びAIの研修が進んだか。 (2)生徒の学習意欲を引き出す組織的授業改善に取り組むことができたか。生徒の学習意欲の向上について授業評価のうちの自己評価の項目において、2/3程度以上の生徒がプラスに評価したか。 ②-1 生徒の主体的参加、交流内容の充実、学習環境の整備、そして異文化への理解や関心の高まりが見られたか。 ②-2 各種活動や行事において、生徒による自主的・主体的な検討及び総括ができたか。生徒アンケートで2/3以上の肯定的回答が得られたか。					
2	生徒指導・ 支援	①生徒のさまざまな活動の主体性を尊重し、生徒に向き合って、リーダーシップを育成する。 ②生徒一人ひとりの個に応じた支援体制を充実させる。	①部活動の活性化に向けた運営を促すとともに、有意義な活動と達成感の向上、安全な環境で行うことを目指し適切な指導と助言を行う。 ②生徒のメンタル面での変化を早期にとらえ、適切かつ丁寧な対応を行う。	①活発で入りやすく続けやすい部活動のため、各部連合委員会の活動を活性化させる。安全で活発な活動が行えるよう、定期的に用具や活動場所の点検を実施し、環境を整える。 ②日ごろの職員間の情報共有及びサポートデスク、学校生活アンケートの結果等を活用し、自らSOSを発せない生徒の早期発見を目指す。学年会等における生徒情報の共有を充実させ、関係機関、職員との連携を円滑に行う。	①部活動加入率を高められたか。生徒による自主的・主体的な活動ができたか。生徒アンケートで2/3以上の肯定的回答が得られたか。 ②サポートデスクおよび学校生活アンケートの結果を適切に活用することができたか。学年会等での生徒情報の共有を充実させ、適切な支援につなげることができたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月 日実施)	総合評価(3月31日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①キャリア教育を充実させ、目的意識を持って学習に取り組む姿勢を育む。	①自らのキャリアについて生徒自身が考え、希望の進路実現に向け行動できる力を育めるよう、家庭とも連携しながら3年間を通して必要かつ適切な支援を行う。	①キャリアガイドブックを活用した3カ年を通じた計画的かつ系統的な進路指導を行う。年内入試への対策として小論文模試等を1学年から充実させたり、外部テストを活用し実践力を身に付けさせたりするなど、多様化する入試へのきめ細かな対応と効果的な指導を推進する。	①説明会やガイダンス、体験の機会、各種試験を有機的に結び付けて効果的に実践することができたか。キャリア教育プログラムを充実させることはできたか。希望の進路実現を達成させることはできたか。					
4	地域等との協働	①地域等への貢献活動や教育力の活用を通して、地域に信頼される学校づくりを推進する。	①地域理解を図るとともに、地域貢献を目指した取組を通じて生徒の自己肯定感につながるような教育活動を実施する。	①地域貢献活動について、生徒の主体的な活動を目指し、意見の集約などを行い内容の検討や工夫を行う。 ①防災訓練や地域理解活動を通じて、地域との交流を深め、地域防災についてさらなる連携強化を図る。	①地域貢献活動について、生徒の主体的な活動となるよう内容の検討や工夫を行ったか。 ①地域に即した防災教育を進め理解を深めることができたか。 地区の防災訓練参加等、地域連携をすすめることができたか。					
5	学校管理 学校運営	①安全・安心で充実した教育環境の整備に努めるとともに、学校の取り組みの情報発信に努める。 ②教員の働き方改革を推進し、組織的な学校運営と校務の効率化を図る。	①地域・社会で必要とされる人材となるよう継続した職員・生徒の意識向上を図る。また施設の環境整備・充実に努め、学習活動において安心・安全に取り組める環境作りを推し進める。 ②国や県の働き方改革の動向を踏まえた取組を推し進める。	①清掃計画を立てるとともに環境整備委員や技能員、PTAと協力・連携して、校内美化やゴミの減量化及び資源化に努める。また事務や各機関と連携し、校内の危険箇所の修繕などを積極的に推し進める。 ②働きやすさと働きがいの両立に向けて、風通しの良い職場づくりや業務分担・内容の見直しを継続する。また県の「業務量管理・健康確保措置実施計画」を踏まえた検討・取組を進める。	①各機関と積極的に意見交換し、環境整備体制を整え、校内美化に対する意識や取組が向上したか。 危険箇所の修繕・及び安全面に配慮して施設整備を推し進められたか。 ②職員の時間外在校時間が減少したか。ストレスチェックで高ストレス者の割合を減少させることができたか。					